

新年あけましておめでとうございます。今年も無事に新年を迎えることができました。これも皆様のおかげです。今年もよろしくお祈りします。

4、5年前の事です。中学校が避難訓練の指示を校内放送で「1年生と2年生は体育館へ、3年生は運動場へ、いずれも上履きのままクラス別に集合しなさい」と放送したところ、なんと20%前後の生徒は放送を聞いて指示通りに動く事が出来なかったとある先生から聞きました。「どこに誰がどのように」という3点だけなのです。放送を聞いて行動することで命を守れることを事前に十分注意していなかったこともあると思いますが、それでもひどい数字だと感じました。私が話をしているとき、人の話を理解しようとする子供達の目には力が溢れ、その言葉一つ一つが何を意味するのか真剣に聞こうとしている姿を見ることがあります。私は以前から子供達に「人の話を聞くときは両耳と両目に力を入れて聞きなさい」と話していますが、実践している子供の目からは本当に力が溢れているかのように見えます。私たちの周りでも時々話を聞けない理解できない人を見ることができます。人の話をまるでラジオから流れてくる音楽の様に聞き流している人。そのような人は会話の内容を十分に理解できず、こちらの話の真意を聞き取る事が出来ません。会話の上面だけで人の真意を理解するため、後々誤解を招き問題になることがあります。そして思い込みによって行動し、他人に迷惑をかける人もいます。思い込みと言えばこのような話も耳にしました。ある幼稚園では年長さんに時計の概念を教えるために「長い針が3になったら道具を用意して座っていなさい」と言う指示を数回だし、その後「長い針が3になったら道具の準備をしないで座っていなさい」と指示したところ、クラス全員がクレヨンなどの道具を準備して待っていたというのです。これは子供なら間違いやすい指示だと思いますが、その時に「いろいろな指示があるから、先生の言うことをよく聞いて行動しましょう」と言うとその後の間違いは少なくなったそうです。思い込みほど恐ろしいことはありません。さてなぜ話を聞かない人が増え、思い込みで行動する人が増える傾向にあるのでしょうか。私はすべて過剰に与えすぎた結果だと考えています。子供が泣くのを止めるために物やお菓子を与える育児から始まり、なぜそのような答になるのかを顧みずに解答集から正解だけを知り、今何をするときなのかを考えずに指示を待つだけの受け身の生活が原因の一つになっていると考えています。知人に教えてもらった言葉ですが「解答は指導を参考に、自分の力で真理を使って導き出すことで初めて学問の力がつく」との考え方に賛同します。与えられた正解に導くための勉強も効果はあると思いますが、そこに自分で正解を見つけ出す努力はもっと重要ではないかと考えています。私たちは教室の内外で子供が何か間違っているとき、すぐに何が違うと指摘せずに「XX君、間違い探し！」と声をかけます。そして自分の何が間違っているのか自分で考える時間を作ってあげます。それを繰り返すことで子供達は直接の答を求めるよりもまず自分で考えようとする習慣が身につきます。そして色々な問題に自分はどうすれば良いのかを気付くようになってきます。

今、この「自分で考える力」が本当に必要な時代になってきたと思います。小手先だけの勉強でなく真理を知り、そしてそれを応用することで「自分で考える力」が付いてくると思います。これからの世界、日本人の仕事のパートナーが日本人だけとは言えなくなります。世界に通用する社会人には自分の考えをいかに相手に伝えるかが仕事の上でとても重要になってくると思います。そのためにも目標値や問題をなぜ自分はこのような意見を言うのかを、相手が納得するだけの考えが必要だと思います。以前、外資系の会社で働いていた友人からこのような話を聞きました。「日本語での思考力が乏しい場合、いくら英語が流暢でも相手に真意を伝えることができない。そうすると仕事上のトラブルが増え、徐々にパートナーから疎まれる存在になってしまう。しっかりと日本語で物事を考え、それを伝える道具として英語を使うことがとても大切なことだ」。私も大いに同感しています。今日、マニュアルに従うことしかできない人をあちらこちらで見ることができます。マニュアルに従って仕事をするには限界があります。全ての環境に対応できるマニュアルなどありません。マニュアルを理解し、その後は自分の考えを持って行動することで相手に気持ちが通じると思います。挨拶すらマニュアルに従ってするので、その声に心がこもっていません。心のこもっていない挨拶など耳障りになるだけです。そんな挨拶などないほうがよっぽどましだと思います。

今年一年、私も「自分で考える力」を意識し、今まで以上に努力しようと心に決めました。まだまだ若造ですから。